



# 歯 車

笑顔いっぱいのまちをめざして

<討議資料> 9月定例会報告

平成24年10月号

鈴木としお後援会 No 11

〒018-0436

事務所：にかほ市樋目野字樋口21

Tel/fax : 37-2307

Eメール toshio@ninus.ocn.ne.jp

## 収穫の季節・・・お変わりございませんか？

長くしかも厳しい残暑、そして、収穫の季節となりました。農家のみなさま、作柄は如何でしたか。さて、9月定例会、今回の大きな議案のひとつが決算です。それに、TDKを中心にした会社の組織編制で雇用が失われたことへの対応策への補正予算です。いずれも原案通りに可決されましたが、この対応策が実をむすび、更なる発展することを期待するものです。

どうぞ、皆様からも提案や意見を承れば幸甚です。ご意見は下記、HPからもアクセス出来ます。

URL <http://suzuki-toshio.jp>

### 私の一般質問から

子どもの将来は考えることは、市の将来を考えることにもつながり、その器としての学校をどのような体制で整備していくのかは、極めて重要なことであり、今回の質問では、「**小学校の統合**」について時間をかけて質問を行った。  
他に、「高齢者対策」「市長の面会日」についても質問をしたが、紙面の関係で割愛する。

質問 院内及び小出小学校のPTA、また、地域住民に学校の統合について説明会を行ったようだが、両小学校の統合についての市長の見解は？

市長 統合検討委員会から提言されても、一〇〇%尊重し実践は難しい。教育委員会では平成二七年四月に院内・小出小学校を統合、院内小の耐震化をはかり、また、今後の利活用を踏まえて小出小の耐震化を計画する、この取り組みを尊重したい。しかし、二七年以降の仁賀保はひとつの小学校とすることは社会情勢などを見極める必要がある。

質問 地域の声は複式学級は避けたいとの声がある一方で、複式学級の良さもある、院内・小出両校の統合後、五〜六年後の再統合より、それまで今の形で持つていけないかとの声もある。

教育長 複式学級には問題点があり、学習指導も大変になるので避けたい。子どもたちの社会性も育たない。

質問 今回の進める統合は、院内小が小出小を吸収することになるのか、それとも新しい学校となるのか。

教育長 決定したわけではない。しかし、基本的には小出小の複式を避けるためだ。それを考えれば、院内小に吸収するのが筋だ。

質問 二七年に統合し、更に五〜六年後の再統合になれば、このふたつにかかる子どもたちが出て、こうしたことを心配する保護者もいる。

教育長 院内小に小出小が複式を解消するために吸収されていく、そして、いづれ仁賀保中近くに新しい校舎を建てて小中連携の教育にしてゆく。

質問 地域の説明会では住民の参加率が低い。学校の外部評価員は「院内・小出の二校だけなのか、平沢も含めた三校での統合を望んでいるのか、地域の考えをまとめ、無駄の生じない方策を講ずる必要がある」と述べている。今後、もう一度説明会の考えはないか。

教育長 状況の変化があれば行すが、今の状況では開催の考えはない。

質問 二六年の小出小の複式への対応は？

教育長 二六年四月には小出小が複式学級が発生するので、非常勤講師などの雇用で対応したい。

質問 平沢小でも説明会があったと聞く。どのような意見・要望があったのか。

教育長 意見・要望は一切なかった。

質問 統合後、地域の連帯感が薄れたり、ふるさとへの愛着心の希薄化が懸念される。校舎の再利用が課題であり、どのような施策を講じていくか。

市長 統合後の利活用は大事だ。しかしながら、施設をこのまま持つていくのは不可能だ。現段階では、小出小の今後のことは決めていない。

質問 平成三十年には象潟地区の統合も提言されている。

教育長 統合はあくまでも子どもたちのためだ。今後、上郷小・上浜小の複式学級が予想されている。象潟小に上郷・上浜両校を統合し、その後、象潟中付近に新校舎を建設し、小中連携を進めたい。

## 市長の市政報告より（抜粋）

コールセンターの誘致	新たな雇用創出に向けて誘致する。場所は旧消防署（現在土地改良区が入っている）を増設し雇用を当初100人想定している。
雇用創出に向けた取組み	新産業創出プロジェクトのひとつとして、使用済み紙おむつを燃料資源化するための機会を新たに開発し、当市を生産拠点とするための取組みを行っている。今後は、その利活用と設備の開発のモデルケースと作る検討会を立ち上げる。
「雇用創出する農林業への支援事業	秋田県では「雇用を創出する農林業ビジネス支援事業」を創設。農業に参入しようとする企業の離職者を支援する。同時に農業の6次産業化へも支援するもの。当市でもこうした事業が予定している企業があり支援する。
介護保険サービス事業	12月に12人定員の認知症対応型通所介護サービスを、更に26年4月に29人定員の小規模介護老人福祉施設を整備する計画、また、社会福祉法人の立ち上げを準備しながら、26年6月に29人定員の小規模介護老人福祉施設を整備計画がだされている。今後は、現地調査・プレゼンテーションなどを踏まえて選定される。
ポリオワクチン	9月1日より定期予防接種で使用するワクチンを、生ワクチンから不活性ワクチンに切替える。
フッ化物洗口事業	9月にはすべての小中学校で実施、今後は保育施設等での実施に向けて協議する。
観光物産センター	「象潟・道の駅」に新たな魅力を創りながら、誘客拡大をはかるために“新たな物産センター”を整備するための計画を進める。

**主な議案では** 住みよい環境づくり条例の一部改正・・・周辺環境に悪影響を及ぼすおそれのある空き家等について適正な管理に努め、良好な環境を保全するために条例の一部を改正しました。

h23年度一般会計歳入歳出決算認定

歳入決算額	15,303,677,868円	歳出決算額	14,941,511,466円
		差引額	362,166,402円

**h24年度補正予算では** コールセンター委託料・増改築工事などに194,290千円  
住宅リフォーム支援補助に10,000千円  
学校（院内・小出）耐震化工事設計委託料に1,528千円  
小砂川漁港海岸離岸災害復旧工事に45,559千円

今定例会では、教育長から「**教育行政報告**」として初めて報告がなされました。内容は「院内・小出両小学校の統合について」など数項目についてであります。以下、2項目についての抜粋です。

☆ 「院内小学校と小出小学校の統合について」・・・学校統合検討委員会の提言を受けて、教育委員会では27年4月に統合を目指し、その5～6年後には平沢小学校も含めた統合小学校を建設したいとの説明を各小学校、地区住民に行った。小出地区からは、学校がなくなることへの不安や学校建設についての意見・要望があったものの統合の必要性は理解して頂いたと感じている。学校の建設にあたっては、市長部局と連携し、社会経済情勢や財政状況等総合的に検討して参りたい。

☆ 「学校給食の安全・安心の確保について」・・・月一回のセシウムスクリーニング検査を実施してきた。この結果、生鮮野菜や鶏肉等を検査したが放射性物質は不検出であった。今後も月一回の検査を継続してゆきたい。

《私見》

学校を統合するのであれば、一度でやるのがいい方向だ。果たして、5～6年後に再統合することが、子どもたちのためにいいのか。また、提言は学校を建設しての統合であったのだが、院内小を改修しての統合になること、また、27年の統合後の再統合については不透明な当局の答弁と私は受け止めている。

今後、市では前川～象潟間の道路建設、ごみ処理施設建設と大型プロジェクトを控えている。そのことが財政上の課題ともなっているように思うのだが・・・併せて皆様のご意見などをお寄せ下さい。

今月から、教育委員会の会議録も公開となっており、市のHPで見られます。